

今とはかなりちがう事やろう

家に帰ると、てるちゃんが、どこかの女の人と、家に来てる。

「どっかで見た様な人やなあ、誰やろう。」
 と思って、何度も、じろり、きよろきよろと見た。
 相手も、ニタニタした顔で僕を見ている。

そうしているうちに、
 「ふうちゃんと違うやろかなあ」と思い、
 向かい側にすわって、「ふうちゃんかあ。」と聞くと、
 ニヤニヤして、うなづいた。

額のほくろを思い出し、ふうちゃんとはっきりわかった。
 ふうちゃんは観音菩薩みたいに、おでこにほくろがある。

お互い、全く、わからなかった。
 大変、なつかしく感じた。

お母ちゃんとは、かなり、歳は離れているが、
 てるちゃん、ふうちゃんとは、いとこ同士。
 三人姉妹で、昔からお母ちゃんとは、姉、妹のように親しい。

それで、僕等、男兄弟にとっても、三人姉妹は、
 僕等のお姉さん同様の付き合いで、小さい時は、
 僕は、特にかわいがられ、よく風呂につれて行かれた。

いやがる僕を捕まえて、抱きあげて、ひざに寝かせ、
 僕の頭に石鹼一杯つけて、泡一杯にして、ゴシゴシ洗った。

実は、おばあちゃんが、母親代わりだった。